

経営比較分析表（令和3年度決算）

宮崎県高岡町 国保高原病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	ド訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
9,009	4,051	第2種該当	-	13:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

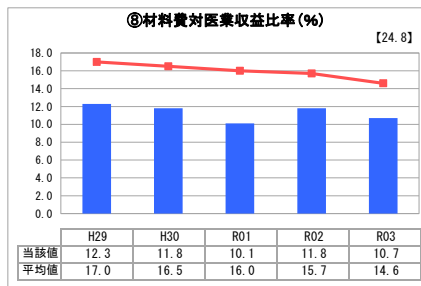
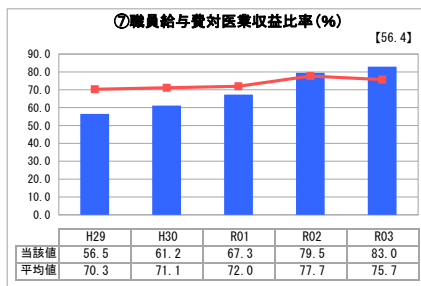
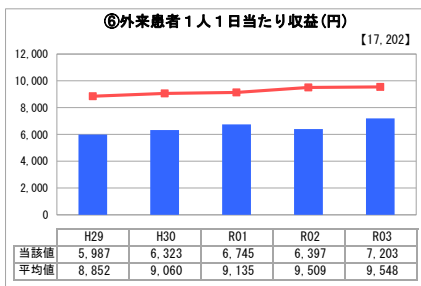
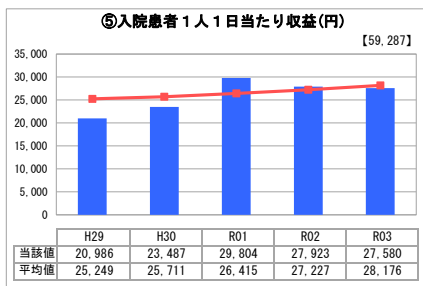
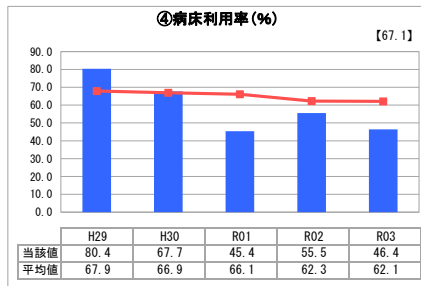
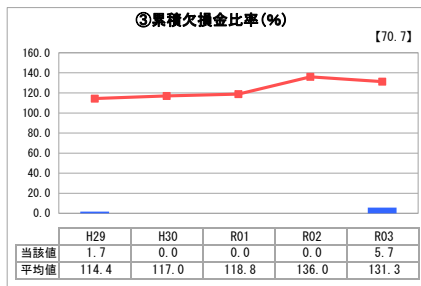
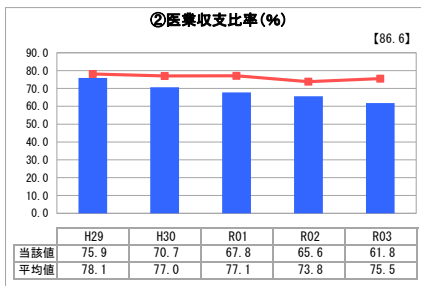
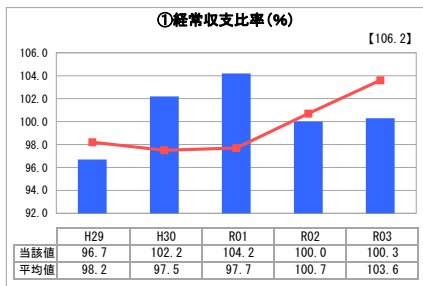
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
56	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	56
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
47	-	47

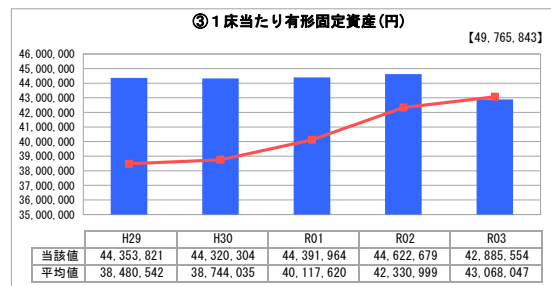
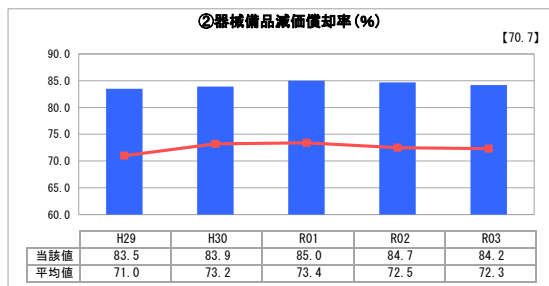
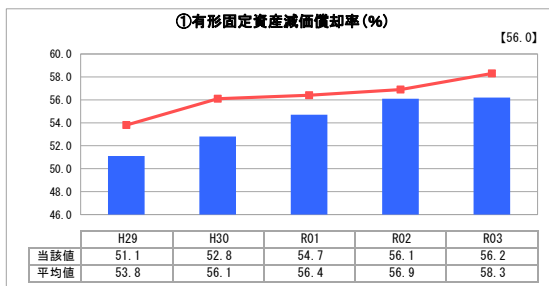
当該病院値(当該値)	類似病院平均値(平均値)
[]	[]

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-

I 地域において担っている役割

当院は、国保直営診療院として地域包括ケア体制の中心的立場から町民に医療を提供するとともに、町内唯一の病院として二次救急医療を提供できる医療体制を維持している。
また、高齢化や過疎化が進展する中で、在宅医療や施設往診など町民の求める医療を適切に提供するとともに、近年猛威をふるう新型コロナウイルス感染症対応において地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①類似病院平均値を下回ったものの医師報酬などの増加により前年度を0.3%上回るものとなった。②外来収益が増加したものの入院収益の減少により前年度を下回った。③退職給付引当金の積み立てにより累積欠損金が発生した。④類似病院平均値を大きく下回っており経営形態の抜本的見直しを検討が必要である。⑤地域包括ケア病床の導入により令和元年度から増加している。⑥新型コロナウイルス感染症の検査等により外来単価が増加した。⑦医業収益の減少により前年度を上回っている。⑧医業収益の減少に伴い薬品費が減少した。

2. 老朽化の状況について

①建物は、平成17年度から平成19年度の3ヶ年の継続事業より約13億円の事業費を投じ、診療機・病棟等の全面改築を行っており、建物本体は老朽化の影響もほばないところである。②器械備品は老朽化が進み類似病院平均値と比較しても上回っている。多額の設備投資を必要とするレントゲンや検査機器等についても耐用年数を迎え更新の時期にきていることから財源の確保と合わせて更新について検討していく。③1床当たりの有形固定資産は一部を売却したことにより前年度を下回った。

全体総括

医業収支は全国平均値を大きく下回り、給与費の割合が増加傾向にあり経費に相応する収益が得られていない状況にある。このため、公立病院として今後も地域医療を継続的に提供していくために経営悪化の要因である医業収益を増加させることが喫緊の課題となっている。また、流行する新型コロナウイルス感染症対応として、感染患者の入院受入れ、発熱外来、疑い患者の救急受入れ、コロナワクチン集団接種など、町民の安全な暮らしを守るため公立病院としての役割を担っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。